

■ 令和6年度 第5回 秋葉区自治協議会

日時：令和6年9月24日（火）午後1時30分

会場：秋葉区役所6階 601・602会議室

1 開会

（中島会長）

皆さん、こんにちは。お疲れさまでございます。暑さ寒さも彼岸までとはよく言ったもので、ようやくエアコンをつけずにぐっすり眠れる、そんな陽気となりました。ただ、残暑疲労の後は寒暖差疲労かな、ということで体がお互い資本ですので、体調管理気をつけて乗り越えていきましょう。

それでは、開会の挨拶を第3部会の森田委員からお願いをいたします。

（森田委員）

こんにちは。挨拶ということでございますけど、また水害ということのニュースをずっと見てまいりましたけど、市民の方の災害意識というか、そういうものがやっぱり非常に大事なんだなと思っておりませんが、特別な状況が輪島でまた起こっております。今日何か黙祷でもしようかな、と思いましたが、黙祷は事務局にお任せをして、では2つほどちょっとお時間をいただきたいなと思います。

報告事項でございますが、最初にスポーツ協会の所属でありますので、スポーツ協会のお話をちょっとさせてください。ここのところのコロナ禍において、懇親会とか講演会とか、そういったことをずっとやれなくて困っていました。5年ぶりに今回講演をするという状況になりました。講師に地元出身のオリンピック女子7人制ラグビーの原わか花選手、この方が了解をいただきまして、一般の市民の皆さんも参加できる講演会にしたいなと思っています。ぜひ委員の皆様も参加できたらよろしくお願ひしたいなと思います。

もう一点ですが、第3部会の事業であります菩提寺山ハイキングということで、歴史探訪という視点で実施をすることになっています。これは、広報でこの前募集かかっておりましたけど、これの下見でボランティアの方と、それから我々3部会の委員の方で下見という形で先々週の9月10日、この9月10日は秋葉区が37.4度という非常に暑い日だったんです。ある事件といいますか起きまして、一人の委員の方が菩提寺山の頂上付近で動けなくなりまして、ボランティアガイドの方と、それから出席の委員の方で全員でその方の救助、下山、搬送、そういったことがありました。本当にこの場を借りて、地

域共助のまさに行動をしてきた下見でありました。課題も分かってきましたので、単純に事業においてこういった状況が起きたらどうするかということも検討していかなきゃなりません。改めまして、ボランティアガイドの皆さんにも、また第3部会の委員の皆さん、本当に大変ご苦労さんでした。大変ありがとうございました。

さて、9月になりまして、もう半分過ぎました。各部会の後期の行動の実践、それから各部会の来年度の計画、そういった状況をこれからお願いするわけではありますが、それぞれご苦労ありますけども、よろしくお願ひしたいなと思います。

最後に、委員の皆さん、区役所の職員の皆さん、日頃のご指導に感謝を申し上げます。簡単ではありますが、開会の挨拶にしたいと思います。ありがとうございました。
(中島会長)

森田委員、ありがとうございました。冒頭に能登水害のお話がありましたけれども、本当に自然災害というのはまさかがないということですね。やっぱり日々の備えと支え合いの仕組みづくり、大切さを改めて痛感した次第です。ありがとうございました。

2 報告

(1) 読書バリアフリーの推進について

(中島会長)

それでは、次第に基づきまして進めさせていただきます。すみません。座って進行いたします。

では、次第の2です。報告1「読書バリアフリーの推進について」、出頭新津図書館長より説明をお願いいたします。

(新津図書館長)

新津図書館の出頭久美子と申します。日頃より図書館行政のほうにご協力いただきまして、誠にありがとうございます。今日は、読書バリアフリーの推進について報告させていただきます。

では、お手元の資料1を御覧ください。まず、1の新潟市読書バリアフリー推進計画の策定についてです。今年度4月に計画を策定いたしました。障がいの有無にかかわらず、全ての市民が読書を通じて文字、活字文化の恩恵を受けることができる社会を目指し、生涯にわたる学びや成長を支える読書活動を推進してまいります。

2の計画の対象は、目が見えない方、見えづらい方、読み書きや集中が難しいなどの発達障がいのある方、また本が持てない、ページをめくることが難しいなど、活字による読書が難しい方を対象としています。障害者手帳の所持の有無は問いません。

3の今後の予定についてです。読書バリアフリーについて、多くの方の認知度を高めるために情報発信に取り組んでまいります。

配付資料のほうを御覧ください。「読書のバリアフリー」というリーフレットを作成いたしました。「自分に合った読書の形はどんなものだろう」というタイトルで、例えば耳で聞く、文字の大きさや背景色を変えて読む、触って読むなどの様々な読書の形の紹介や、読書をサポートする機器、道具の紹介をしています。このリーフレットは、学校や公共施設のほか広く配布していく予定であります。ご一読いただき、ご家族、ご友人、お知り合いなどにお声がけをしていただければと思います。

さらにもう一枚、A4のチラシをお配りいたしました。中央図書館のエントランスを会場に、10月3日木曜日から11月5日火曜日まで読書バリアフリー関連展示を行っております。10月5日の土曜日には、読書バリアフリー体験会を実施いたします。組立て式の眼鏡で見えづらさを体験したり、電子書籍や様々な読書支援機器を体験したりできる機会となっております。足を運んでいただければ幸いです。

最後に、特に資料はございませんが、新津図書館の取組をご紹介します。先月8月22日木曜日に、荻川小学校の教職員の方々と新津図書館、合同研修という形で読書バリアフリー研修会を実施いたしました。障がいの有無にかかわらず、教科書や本を読むことに困り感を持っている子供たち、その子供たちが少しでも楽しく文字や活字に触れることができ、笑顔で過ごせるようにということで、先生方に新潟市読書バリアフリー推進計画の内容と支援の体験をしていただきました。先生方の感想を2つほど紹介させていただきます。「子供たちと向き合い、読む楽しさ、読む力をつけるための具体的な方法が分かった」、「早速教育活動に生かしていきたい」、このように手応えを感じる感想を多くいただきました。今後も誰もが利用しやすい書籍や電子書籍などの数を計画的に増やすことで、一人一人の見え方や読書の難しさに対応できるよう、円滑な利用に向けて支援を進めていきたいと考えております。また、学校教育や地域の皆様との研修会等の連携や、新津図書館内での展示をはじめ、広く発信していきたいと考えております。

説明は以上となります。ありがとうございました。

(中島会長)

出頭館長、ありがとうございました。

今ほどのご説明についてご質問、ご意見、また感想等ありましたらお願いをいたします。いかがでしょうか。

はい、では渡邊委員、お願いします。

(渡邊委員)

ありがとうございました。渡邊です。大変すばらしい取組だと思っております。例えば国語の教科書でも、隣の行との区分けが難しくて集中して読むことができないお子さんだったり、読書の時間に読書をしなければいけないけれども、文字を読むことが難しいので、読んでいるふりをしているお子さんもいらっしゃると思います。ですので、今日ちょっと出頭館長がご紹介してくださった読書のバリアフリーの中のリーディングトラッカーとリーディングルーペ、それとLLブックというのをお持ちしましたので、回しますので、よかったら御覧になってください。

(新津図書館長)

具体物までお持ちいただいて、ありがとうございます。今後ともご協力よろしく願いいたします。

(中島会長)

ありがとうございました。

ほかいかがでしょうか。去年、市川沙央という聴覚障がい者の小説家がいるのですが、彼女が著した「ハンチバック」だったかな、あの作品が芥川賞を受賞しまして、かなりその作品の中で読書バリアフリーの日本の現状と課題について問題提起をされていて、それに関心を持った人も少なくないと思いますが、私ら学校関係者にとってはとてもこれ関心事で、このバリアフリー、実は大学生も今漢字が書けない、読めない学生って増えています。これは、視覚障がいによるものではなくて、発達障がい、ディスレクシアというのかな、文字がゆがむんです、見るときに。当然書けないんです。そういう学生もおったりするんです。そうしたことで、視覚障がい者と呼ばれる人の約8割が高齢者なんですけれども、そうでない発達障がいの人もこれ対象になるということで、これは決して他人事ではなくて、私たちも年取って目が弱ってくると本を読まなくなるんです。若者の読書離れて問題になっていますけれども、高齢者も読書離れがこれから間違いなく進んでいくという状況なんです。

そうしたことで、電子書籍、今公共図書館は新潟市だけに限らず、全国の自治体では導入に取り組んでおりますけれども、ちょっとまだまだというような状態でございます。電子書籍の、これ大学もそうなんですけれども、なかなかちょっとまた紙の本とは違って、課題があるとすると、例えばリクエストってできないんです。これ全国どこもそうなんです。紙の本って、読みたい本があったらリクエストかけられるじゃないですか。それができないんです。あと、自治体間の多分相互貸借もできないと思います。つまり新潟市にない電子書籍で、でも長岡市にはあると。それを読みたいとしたところで、紙の本だった

ら容易に取り寄せて利用することができたりするんですけど、それができないんです、電子書籍。そうしたことで、かなりやっぱり基盤整備の部分で課題を残しているというところがあるのかなと思います。

じゃ、そうした問題を我々はどういうふうにして解決に向けて取り組んでいったらいいのかという話になるけど、現時点では多分電子書籍に対して我々がもっと認知をするということと利用することしかないかなと思っています。まだまだ紙の本に比べて、そうした利用状況というのが、これは新潟市だけに限らず、全県的に、全国的に進んでいないというのが現状でございます。すみません、補足で。

ほかにどうでしょうか。よろしいですか。

出頭さん、ありがとうございました。

それでは、「読書バリアフリーの推進について」を終わりにします。

(2) 令和6年度秋葉区地区懇談会の開催について

(中島会長)

それでは、続きまして2です。「令和6年度秋葉区地区懇談会の開催について」、高橋副区長よりご説明をお願いします。

(副区長)

副区長の高橋です。お疲れさまです。

まず最初に、長崎区長ですが、本日は新潟市議会9月定例会の本会議に出席しておりまして、欠席とさせていただいておりますので、この場を借りましてご報告させていただきます。

それでは、令和6年度秋葉区地区懇談会についての報告ということで着座にて続けさせていただきます。まず、開催に当たりまして、会場の予約、準備をはじめ運営に至るまで、地域コミュニティ協議会の皆様から多大なご理解とご協力をいただき、厚く感謝を申し上げます。

それでは、資料2を御覧ください。各コミ協の開催日や参加者数などは、1の(2)の表に記載のとおりです。

続いて、2番、開催内容についてですけれども、3番目の地域課題に関する意見交換については後ほどまたご説明いたしますが、4番のその他、この場面では区長より今年度の区役所の施策、取組の方向性、「災害に強く、こども真ん中の秋葉区づくり」についてと併せて、秋葉区のコミ協単位での地域別人口推移についてご説明いたしました。

続きまして、資料の裏面を御覧ください。3の分野別地域課題件数は、各コミ協からい

いただいた地域課題を分野ごとに整理したものです。分野別では、都市基盤・交通等が37件で一番多く、続いて安心・安全が21件、まちづくり全般が12件と続きました。

次に、4の地域課題の主な意見、要望についてです。分野ごとにいただいた課題を並べてございます。都市基盤・交通等では、道路整備や舗装修繕、公園管理などに関して、安心・安全では避難所開設、空き家対策、横断歩道、信号機設置などに関して、まちづくり全般では道路整備による児童の通学路の安全確保など複合的な課題や、新津川の水辺環境整備、無電柱化などに関して意見交換を行いました。その他の分野については、御覧のとおりとなっております。

簡単ですが、以上が今年度の懇談会についてのご報告となります。よろしくお願いいたします。

(中島会長)

高橋副区長、ありがとうございました。

今令和6年度秋葉区地区懇談会、これは終了報告ということで、委員の皆様方におかれましては各コミ協で行われた懇談会に出席された方もいらっしゃるかと思います。こちらにつきまして、何かご質問なりご意見、また出席されての感想等ありましたらお願いいたします。よろしいですか。

それでは、ございませんので、2、「令和6年度秋葉区地区懇談会の開催について」を終わります。

3 その他

(中島会長)

それでは次に、次第の3に移ります。

その他です。まず、各部会から活動報告をお願いいたします。

順番が第1部会、第2部会、第3部会、広報部会、ひな・お宝巡り部会でいきましょう。時間の都合で、ご質問は全ての部会が終わってからさせていただきます。

それでは、第1部会、加納部会長、お願いいたします。

(加納委員)

第1部会の加納です。座って説明させていただきます。

きらサポ部門につきまして、1つは8月に終わっております。終了しております。

それと、もう一つのわんわんパトロールにつきましては、9月22日、勉強会も終えて、11月いよいよわんちゃんのパトロール隊が始動するというふうなことを聞いております。

それと、もう一つのはじめての聞き書き講座というふうな形で、こんなすてきなパンフレットと申しますかできております。まだ募集の日には終了しておりませんので、ぜひ皆さんからご参加いただきまして、今回は花卉園芸プラスアルファというふうな形で行う予定になっておりますので、お申込のほうをしていただければ幸いです。

あと、もう一点なんですけども、今ほどのキラサポ部門と未来ビジョン部門の担当を第1部会を担当しておりまして、キラサポ部門につきましてはずっとやっておりましたので、何とか対応させていただいておるんですけども、未来ビジョン部門につきましては非常に第1部会の中では対応が難しいというふうな形で、8月7、8日の部会の中で横断的に申しますか、そういった形で皆さんに対応をお願いできればというふうな考えに至ったんですけども、あれでしょうか。来年度は特別部会というふうな形で対応していくというふうな方向性を取っていきたくと第1部会では考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

まだこれ私どものほうだけで、確実に決定というふうなお話ではないですけど、再度また第1部会の中ではどうしていけばいいのかというふうなことも考えていきたくと思ひております。皆様の中でも、幸いと申したらなんですけども、地域のことをよく知っていらっしゃる1号委員の方には入っていただいて、ちゃんとしていただくというふうな方向を取っていただけたらありがたいというふうに思ひておりますので、お願ひしたいと思ひます。

以上です。

(中島会長)

ありがとうございました。

それでは、第2部会、青木部会長、お願ひいたします。

(青木委員)

第2部会、青木でございます。私のほうからお願ひが1点、連絡1点、合計2点いたしたい。

まず、お願ひでございます。先回も皆様にお願ひしたんですけども、自治協主催の被災地の視察研修についてのお願ひでございます。前回文書でお願ひしたんですけども、10月の19日土曜日、古志郡山古志村のほうに視察研修に行きたいということで、一人でも多くの方から参加していただきたいと思ひまして、皆様のほうから一人でも多くよろしくお願ひします。なお、受付は地域総務課のほうで山田さんのほうで行っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。これがお願ひの件でございます。

続きまして、連絡でございます。金津コミ協主催によりまして、この前金津小学校、中

学校合同の防災訓練を行いました。このときに自治協で作りました子供向けの防災手帳、これを活用しまして実施いたしました。非常に、結果につきまして、子供も理解できたということで喜んでおりましたので、今回幸いにして急激な豪雨による被害、能登半島はすごかったんですけども、新潟県には人的被害はなしと、当秋葉区においてもさしたる被害はなかったということによかったなと思うんですけど、災害はいつ来るか分かりません。そんな関係で、またこれからも機会を見ていろいろな防災訓練をやっていききたいなど、そんなふうに考えております。以上、連絡でございます。

以上で終わります。

(中島会長)

ありがとうございました。

それでは、第3部会、佐々木委員、お願いいたします。

(佐々木委員)

座ったまま報告させていただきます。

3部会の報告です。前回のミーティングでは、令和7年度の事業の検討を行いました。A k i h a おとな大学、そしてA k i h a 子ども大学をベースに意見が出されました。子供の居場所づくりにつきましては、各地域ごとの実現に向けて、自治協としてどのような関わりがよいのかを今後検討していきます。今年度は、各コミュニティーにアンケートにより居場所の状況を把握することにいたしたいと思っております。皆様お忙しいところ大変恐縮ですが、ご協力のほどお願い申し上げます。また、子ども大学、子供ど真ん中、子供主体の活動を推進していきたいという意見が出ています。そして、おとな大学もやりたいという意見が出ていまして、後期のハイキングでガイドが不足していることから、次年度は歴史文化の企画、2年目でツアー開催、住み続けたいだけでなく、誇れる魅力を発掘していきたいと意見が出ました。

続いて、今年度のもち麦ですが、来年1月26日日曜日のにいがた秋葉っ子ふゆまつりにて、もち麦フェスタを開催いたします。フェスタ開催に向けて、今のところ準備中です。

また、先ほど森田委員から報告がありましたトレッキングにつきましては、11月の2日開催予定です。9月15日の広報にて秋葉区に配布されました。先日下見を終えまして、開催を待つばかりなのですが、ガイドさんと共に往復約3時間程度を歩きます。歴史を学び、楽しく、そして安全に歩くということで、みんなでまた挑戦していきたいと思っております。

報告は以上です。

(中島会長)

ありがとうございました。

それでは続きまして、広報部会、森田委員、お願いいたします。

(森田委員)

広報部長をしております森田でございます。よろしくお願いいたします。

今日皆さんに配りました「あきはくはつものがたり」、開いてみますと防災訓練一色ということで、まさに今どきの読めば参考になるなという内容でありました。防災訓練、避難行動、地域共助、復旧の取組、避難所運営、本当に投稿文を出していただきました。皆さん、ありがとうございました。

それから、エフエム新津の番組であります「あきはくはつものがたり」の放送でございますが、9月、新津松坂の実況を含めまして、小菅委員、若月委員、大変ありがとうございました。10月、会長の懸案であります女子会ということで、加納委員、大貫委員、佐々木委員、よろしくお願いいたします。11月になりますと、今青木部長から言いました現場研修を踏まえまして、防災地の視察の内容を中心に菅井委員、稲垣委員、よろしくお願いいたしますと思います。12月になりますと、菩提寺山ハイキング終わるわけですが、その内容を中心に坂口委員、甲田委員、よろしくお願いいたしますと思います。

最後ですが、エフエム新津のCMスポットということで、前回の本会議のときにそれぞれの部会でちょっと考えてくださいというようなことは言いましたけども、実際にエフエムさんと打合せをしまして、一応どういったものをエフエムにいつと一緒に、20秒CMに取り組むかということの概要をちょっとまとめました。先ほどの1部会のキラサポ、わんわんパトロールの関係のCMにつきまして、女子会グループの皆さんからCMをやっていただきたいなと思います。2番目は、居場所のオープンということで、中高生の男女、この辺をCMに取り入れてまいりたいと思います。3番目につきましては、ひな・お宝めぐりの開催前と開催中ということで、開催前については村上委員と板井委員、よろしくお願いいたします。開催中に関しては、ひな・お宝巡り部会から2名ぜひCMに参加をお願いします。

5番目につきましては、3部会のもち麦のPRをやっぴり継続的にやらないとまずいだろうということで、山崎委員を中心に田中委員、よろしくお願いいたしますと思います。

以上の後期の活動をやります。来年度の取組についても広報紙、30分番組、CM、あとホームページの活用は大いにやっていきたいなと思っております。

以上です。

(中島会長)

ありがとうございました。

それでは、引き続いてひな・お宝巡り部会です。

大貫委員、お願いします。

(大貫委員)

座ったままでご報告させていただきます。

先月の報告と大きな動きというか、改めて報告するような内容ではないんですが、この本会議の前に交流センターにて飾りを展示をする1号委員の方からなっていて、交流センターの施設の関係上、開催の日程が決まりましたので、ここでご報告させていただきます。令和7年2月1日から3月の16日まで、16日日曜日なんですけど、15時までの開催になります。ほかのコミ協さんについては、それぞれ開催日が長かったり、短かったり、そのコミ協さんの会場によって異なりますので、これはまた皆さんのほうで周知していきたいと思います。

それで、1つエピソードなんですけど、昨年交流センターで開催していたときにたまたまウイーンから帰省していたご夫婦が見学をして、それでウイーンに帰った後に折り紙教室を開いているという情報がありまして、この事業が何か地域だけにとどまらず、海を越えたほかの地域でも折り紙を折って楽しんでいるということを知らせて、とてもうれしく思いました。こんな形で、今でも茶の間の参加者の方がもう来年に向けて折り紙を折り始めているということも耳にします。そうかといって、折るのが大変だからという話も聞きます。これは、秋葉区の春の恒例の行事として定着していることも事実ですので、今年事業を展開しながら、来年度皆さんとどんな形でこの事業を残していけるかということをご丁寧に協議してまいりたいと思います。皆さんのご協力も必要かと思えます。そんなときは、快くご協力のほうをよろしくお願いします。

以上です。

(中島会長)

ありがとうございました。

ただいまの各部会からの報告につきまして、皆さんからご質問、またご発言等ございましたらお願いをいたします。いかがでしょうか。

はい、青木委員から手が挙がりました。

(青木委員)

すみません。第3部会の方の話を聞いていて、先ほどの話で9月10日、山へ下見に行かれたとき何か1人体調を崩されたという話だったんですけども、私現場へもちろん行っていませんし、詳細は分からないんですけども、そのときに山の手コミ協の方が倒

れたというふうに聞いているんです。それで、大分苦勞されたという話なんです。それで、私お願いなんですけど、自治協主催あるいは区の職員も行っている行事にもうちちょっと緻密にやっていただきましたかったということなんです。何かあれば大変で、今回は大事に至らなかったという話なんですけども、その辺消防へ連絡するとか、いろいろなことを考えてやっていただきましたかったと、そういうのが私のお願いです。

以上です。

(中島会長)

ありがとうございました。よろしいですか。

ほかにございますでしょうか。よろしいですか。

なければ、委員の皆様からぜひこの場でということでご発言ございましたらお願いいたします。よろしいですか。

ほかになければ、これにて議事を終了したいと思います。

それでは、進行を事務局にお返しします。